

第 33 回 横浜マリノールカップ男子 A ゾーン決勝 8 月 4 日(土)

戸塚ミニバスケットボールクラブ (横浜西部) 56 VS 33 院内MBC (千葉)



1Q 戸塚は立ち上がり長身の#7(神田)がドリブルで運びストップジャンプシュート、自らリバウンドシュートを決めて得点。対する院内は#6 牧野のジャンプシュートで 2-2 とする。その後戸塚は院内のマンツーマンディフェンスに対しミスが続き得点できない。一方院内は戸塚のゾーンディフェンスに対し#5(堤)、#6(牧野)のジャンプシュート、#4(小奥)のパスカットからの速攻などで 4-10 とリードする。しかし後半戸塚#7(神田)がディフェンスではブロックショット、オフェンスではドリブルで運んでジャンプシュート、自らリバウンドを取り得点、又リバウンドシュート、パスカン、フリースローも決める 3 点プレイなどの活躍で 12-10 と逆転して第 1 クォータ終了。

2Q 戸塚はオールコートマンツーマンディフェンス、対する院内はボールにプレッシャーをかけつつ下がってゾーンディフェンス。戸塚#4(川戸)がドライブイン、院内#7(佐藤)がジャンプシュートを決めるが戸塚#8(稲川)にドライブインを決められ 16-12 院内タイムアウト、ディフェンスの修正か? タイムアウトあけて戸塚#4 (川戸) の速攻をファールで止められるがフリースロー 2 本決める。その後も#4 (川戸)の速攻や#6(佐藤)、#8(稲川)のミドルシュート、#18(望月)のシュートで 26-14 とゲームは戸塚ペースとなる。院内は戸塚のオールコートマンツーマンディフェンスに、ターンオーバーやミスショットで得点できず苦しい展開となるが、クォーター終盤#12(長原)のミドルシュート、#9(松本)のハイポストからのドライブ、ゴール下の#8(星野)にパスが通り、得点して 28-18 と 10 点差で前半終了となる。

3Q 立ち上がり院内は戸塚#7(神田)のハイポストからのジャンプシュートが落ちるが神田にオフェンスリバウンドを取られてファール。フリースロー 2 本決められ 30-18 しかしオフェンスではインサイドへパスが入り#7(佐藤)の得点、#8(星野)のミドルシュートと連続得点、守ってはボールマンにプレッシャーをかけ追い上げムードが出てくる。しかし戸塚#4(川戸)のドライブ、#7(神田)のリバウンドシュートで 38-24 と得点差は縮まらないまま第 3 クォータ終了。

4Q 院内#6(牧野)スローインのパスカットからゴール下でバスケットカウント、フリースローも決めてムードを盛り上げる。戸塚も#7(神田)がミドルポストでパスを受けてターンシュート、院内#8(星野)インサイドからのパスを受けミドルシュート 41-29 となる。院内はディフェンスファールからのフリースローで得点され、オフェンスは戸塚のディフェンスプレッシャーに思うように攻めることができない。タイムアウトをとるが有効な対策はできず戸塚#4(川戸)#7(神田)の連続得点で点差が開き始める。院内も#10(高橋) #7(佐藤)が得点し、がんばるがゲームの流れは変わらず 56-33 で戸塚の勝利となる。

協力/ 横浜市南部ミニバスケットボール連盟技術委員会